

自主防災ニュース Vol.6

今回はトイレの備えについてです。

災害時のトイレについて考えることは、水や食料の備蓄と同じくらい重要です！

断水になるとたちまち使えなくなる水洗トイレ。

食べることは半日くらいガマンできてもどうしてもガマンできないのがトイレ。

皆さんのお宅では万全の備えをしていますか?? この機会に改めてチェックしてみてくださいね。



大地震が起こったら！ 発災直後にいきなりトイレの水を流すのはNGです！

地震が起こると地盤沈下や液状化などで便器から先の排水管が損傷する場合があります。

排水管の破損に気付かず用を足し、汚水を流してしまうと破損箇所から汚水があふれ出し、タイヘンなことになってしまいます。

特にマンションの場合、高層階の部屋の汚水がきちんと流れず、低層階で水漏れ（←汚水です!!）が発生したり、汚水が逆流して便器からあふれ出す、といった悲惨な状況も考えられます。

大きな地震が起こったら、たとえお風呂にお水を貯めているなどして、潤沢に水があったとしても、いきなり水をトイレに流すことは避け、まずは排水管が正常に機能しているかを確認してからトイレを使うようにしましょう。

もし配管に異常があるのに各家庭から汚水をどんどん流してしまうと、余計に排水管をつまらせてしまい、復旧に時間がかかってしまいます。マンションにお住いの方は特に平常時から住民の共通認識を確認して置いた方がいいでしょう。

大地震や断水に備えて非常用トイレの備蓄をしておきましょう！

では、すぐにトイレが使えない場合はどうしたらいいのでしょうか？

災害時のために日頃から非常用トイレの備蓄を心掛けましょう！

非常用トイレにはいくつか種類がありますが、ご家庭で備えるなら便器にセットして使う簡易トイレが使いやすいと思います。災害時で心が落ち着かない時こそ、いつも使っているいつものトイレで安心して用を足したいですね！

備蓄量ですが、最低でも1週間分とすると、1人1日5~6回分×7で約40回分、家族の人数分必要なので、5人家族だと200回分ぐらいの備蓄が必要です。いろいろな商品が出ていますが、基本的には便袋と凝固剤がセットになっています。便袋ができるだけ丈夫なものを選ぶといいと思います。



簡易トイレの使い方を確認しておきましょう！

簡易トイレの使い方はカンタンです。便器の底にたまっている封水は下水から上がってくる臭いや害虫を防いでくれる大切な水ですので、抜かないようにします。便座を上げて下地になるポリ袋をしっかりと

かぶせ、ずれないように養生テープなどでしっかりと固定します。この袋はトイレが復旧するまでずっとかぶせたままにします。そして下地袋の上から使い捨ての便袋をかぶせて便座を下ろします。

これで準備完了です！ 後はいつものように用を足し、凝固剤で固めてから便袋だけを外し、しっかり袋の口をしぼって自治体のルールに従って処分します。

たかがトイレ、されどトイレ！ 水や食料と同じぐらいトイレは大切です！